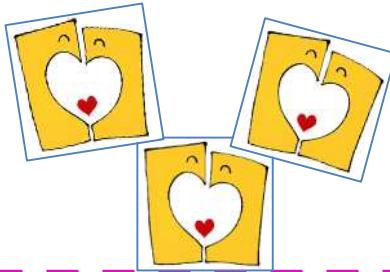


道徳通信

中島中学校 3学年道徳通信 No.5 R7.10.14



私の町 【主題名:郷土の伝統と文化】

今年度の「いしかわ道徳教育推進事業」の取組で、学級担任以外の教員（今回は吉本教諭）が授業を行いました。

【あらすじ】

新潟県村上市は古い城下町で、武家町と町人町が残る町並みが特徴である。そして、村上には「村上大祭」や「町屋の人形さま巡り」といった伝統行事がある。「私」は、大好きな祭りの担い手が減ってきていることや、住んでいる町屋を観光客から褒められたことなどを通して、ふるさとの良さを再認識し考えを深めていく。

【ねらい】

村上市に生まれ育った「私」が郷土の町並みや伝統行事について考えを深めていったことを通して、郷土の伝統や文化、自らと地域社会の関わりについて考えるようとする。人口減少により地域の産業や文化などの担い手不足が課題となる中、郷土の現実に目を向け、具体的に自分の考えをもつ。



「ふるさとを思う心」とは、どんな心だろう。

祭りが近づくと
わくわくする

見えないところで多くの人
が力を出し合っている

村上大祭・人形さま巡り
町家の土間…うなぎの寝床

恥ずかしいと思っていた我が家
が観光客から褒められた

開発を進めれば住みやすくなる
かもしれないが、町家の町並み
やおしゃぎりは続いてほしい

生徒の振り返りより 「郷土の伝統と文化について考えたこと」

人口減少や資金の問題の課題があるが、私たちが工夫して地域の伝統や文化を受け継いでいこうとする思いが大切だと思った。

地域の文化の歴史を調べたり広めたりすることなら自分でできるのではと思う。

文化を受け継いでいくことによって人々の
関わりや雰囲気の良さを感じ取ることがで
きると思う。

地域の伝統や文化を守って
いくには、まず「ふるさとを思
う心」が大切。



写真出典 <https://okumakabuto.jp/>

ご家庭でも、「郷土の伝統と文化」について話し合ってみてください。